

日本好配当リバランスオープンⅡ

追加型投信／国内／株式

- 平素は「日本好配当リバランスオープンⅡ（以下、当ファンド）」に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
- 本レポートでは、当ファンドの運用状況についてご紹介します。

足元の投資環境と運用状況について

投資環境

年初の国内株式市場は、業績期待などを背景に堅調に始まりましたが、グリーンランドの領有問題を巡りトランプ米大統領が欧州に關税を課すことを示唆したことなどをきっかけに、上値の重い展開となりました。その後、2月末に米国・イスラエルがイランに対する軍事行動を起こすと、地政学的リスクへの懸念が一気に高まり、リスクオフの動きから株価は大きく調整しました。

4月に入ると、米国とイランによる停戦協議の進展への期待などから、センチメントが改善し相場は持ち直しの動きとなりました。また、AI関連投資の旺盛な需要により構造的な成長が期待されるAI関連株を選好する動きが強まり、同関連株が主導する形で株式市場は上昇基調となり上値を試す展開となりました。

運用状況

こうしたなか、年初からの当ファンドの基準価額は、設定来の高値圏でもみ合いの推移となり約3.6%上昇しました(4月30日時点)。

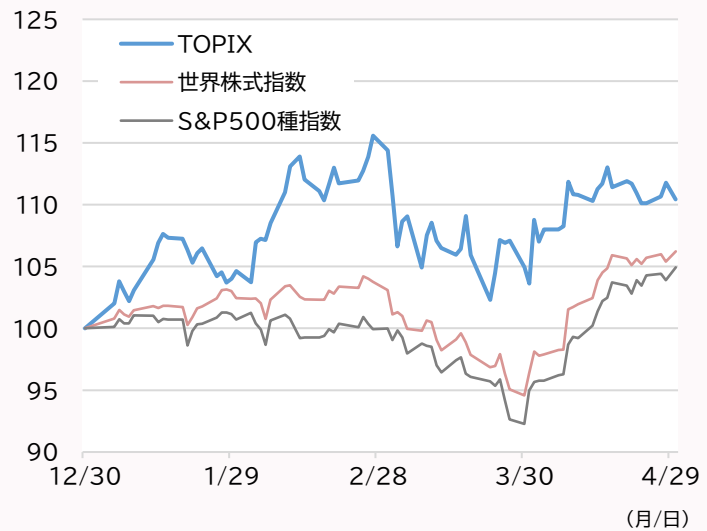
当ファンドの参考指数である日経500種平均株価との比較では、バリュー株相場に強いポートフォリオ特性を持つ当ファンドにとって、AI関連のテクノロジー株が相場を牽引した4月以降は、パフォーマンスに厳しい投資環境となりました。

セクターでは、半導体・半導体製造装置がアンダーウェイトだったことなどが、パフォーマンスにマイナスの影響となりました。

一方、機械や不動産、建設などをオーバーウェイトしていたことが、パフォーマンスにプラスの寄与となりました。

図表1 2026年の主要株価指数推移(現地通貨ベース)

期間:2025年12月30日~2026年4月30日、日次

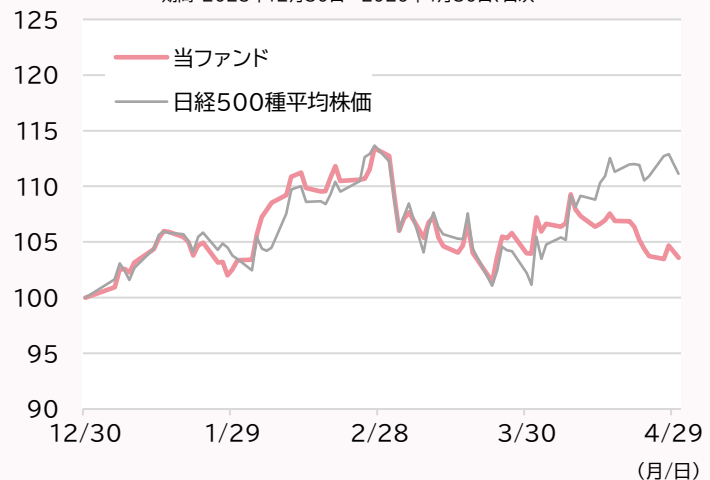


※2025年12月30日を100として指数化 ※各指数は配当込み(現地通貨ベース)

(出所) Bloombergデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

図表2 当ファンドの基準価額と日経500種平均株価

期間:2025年12月30日~2026年4月30日、日次



※2025年12月30日を100として指数化 ※指数は配当込み

※当ファンド:分配金再投資基準価額(信託報酬控除後)

※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

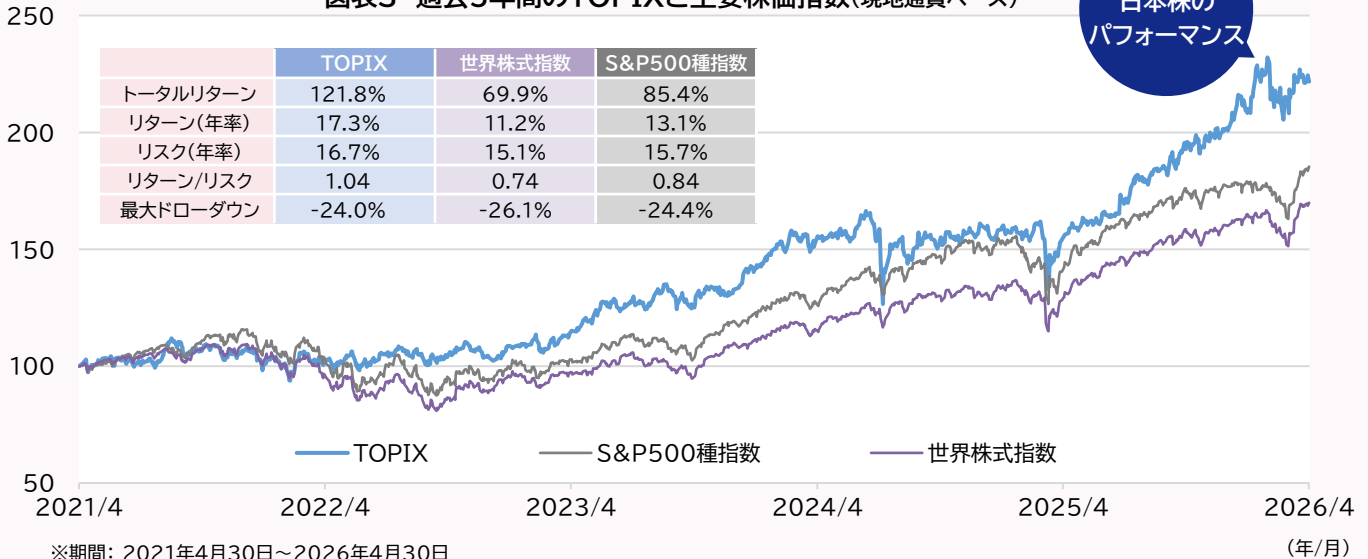
(出所) Bloombergデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

投資環境と運用状況の分析－〔1〕

過去5年間のTOPIXは世界株式指数、S&P500種指数を上回る好パフォーマンス
TOPIXのリターンは世界株式指数を約50%上回る

好調な
日本株の
パフォーマンス

図表3 過去5年間のTOPIXと主要株価指数(現地通貨ベース)

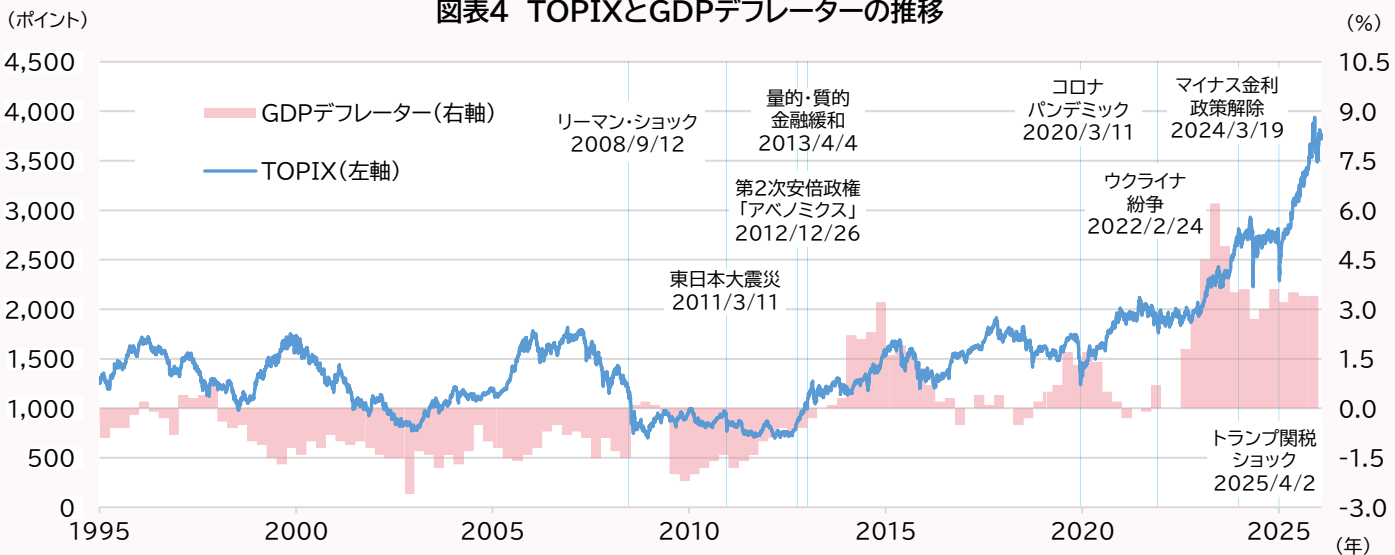


※期間: 2021年4月30日～2026年4月30日
 ※2021年4月30日=100として指数化 ※各指数は配当込み(現地通貨ベース)
 ※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

(出所) Bloombergデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

日本株はデフレ経済下の相場低迷から脱し、上昇基調を継続

図表4 TOPIXとGDPデフレーター推移



※期間: 1995年3月31日～2026年4月30日(日次)
 ※GDPデフレーター期間: 1995年3月～2026年3月(四半期、前年同期比)
 ※TOPIX:配当込み
 ※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

(出所) Bloombergデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

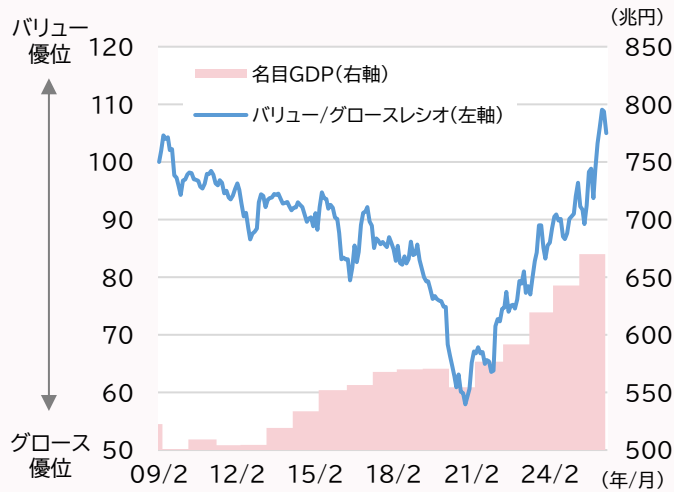
投資環境と運用状況の分析－〔2〕

デフレ下の相場低迷から脱した上昇局面で、相対的にバリュー株が優位の展開 日本株はグローバル株式市場のなかで依然として相対的に割安

日本株は、デフレ下の相場低迷から脱した上昇局面において、相対的にバリュー株が優位な展開となっています。

日本株は過去最高値を更新するなど大きく上昇しましたが、グローバル株式に比べて相対的に割安であり、今後も水準訂正が期待されます。

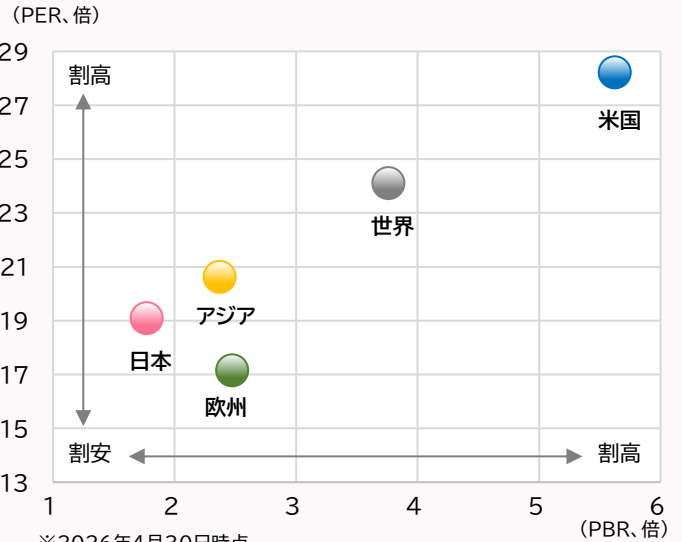
図表5 バリュー/グロスレシオと名目GDP



※2009年2月～2026年4月(月次、名目GDPは2026年3月まで)
※バリュー/グロスレシオ:TOPIX500バリューインデックスをTOPIX500グロスインデックスで除して算出(2009年2月末を100として指数化)
※名目GDP:2009年3月期～2025年3月期、(実額、年度ベース)

(出所) Bloombergデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

図表6 日本およびグローバル株式のバリュエーション

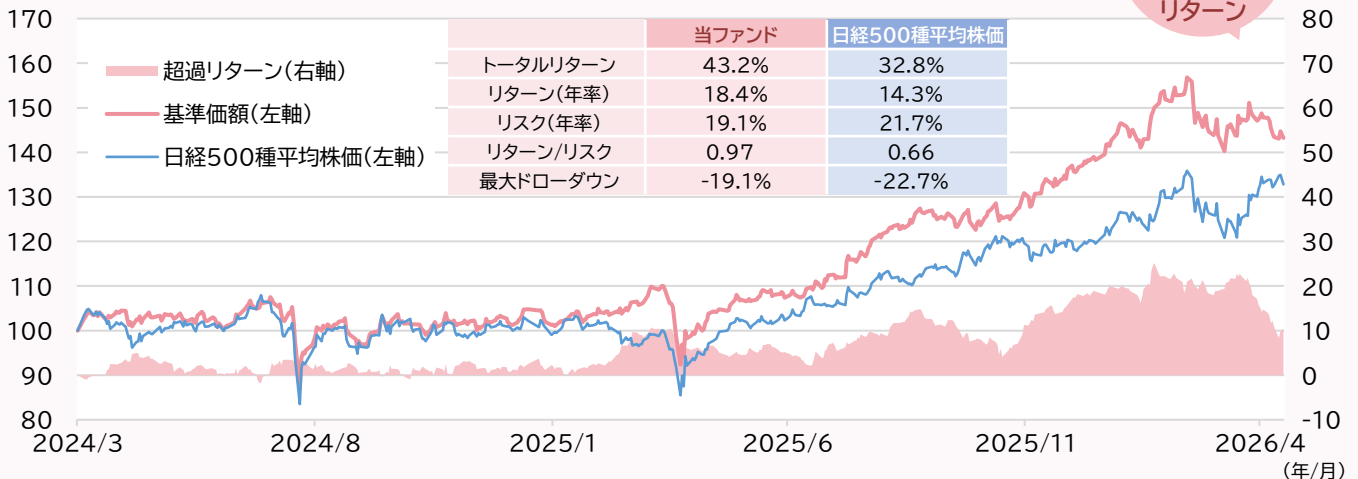


※2026年4月30日時点
※日本:TOPIX、アジア:MSCI AC Asia Ex. Japan Index、欧州:ユーロ・ストック50指数、世界:MSCI ACWI Index、米国:S&P500種指数
※PER:株価収益率、PBR:株価純資産倍率

(出所) Bloombergデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

当ファンドの設定来のパフォーマンスは良好を継続

図表7 当ファンドの設定来基準価額と日経500種平均株価



日経500種
平均株価を
上回る
リターン

※期間:2024年3月15日(設定日)～2026年4月30日 ※2024年3月15日を100として指数化 ※日経500種平均株価は配当込み

※当ファンド:分配金再投資基準価額(信託報酬控除後)

※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

(出所) Bloombergデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

投資環境と運用状況の分析－〔3〕 分析期間2024年3月15日(設定日)～2026年4月30日

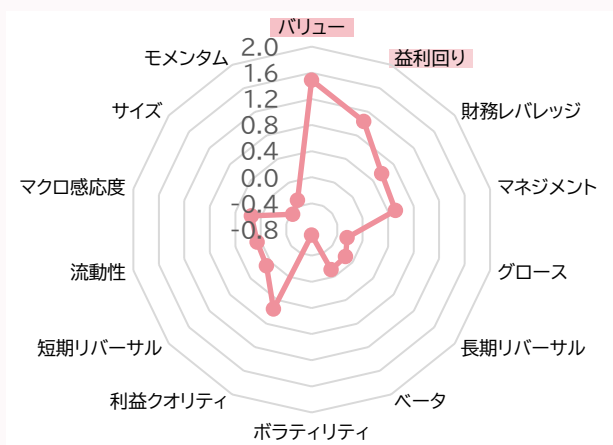
割安株が優位なバリュー株相場で強みを発揮する 当ファンドのポートフォリオ特性

設定来の超過リターン*に貢献したファクター・エクスポージャーを分析すると、「バリュー」、「益利回り」などが上位となります。これは、PBR(株価純資産倍率)や配当利回り、益利回りなどの点で割安な銘柄の組み入れが多く、割安株が優位なバリュー株相場の局面で強みを発揮するポートフォリオ特性を有していることを示唆しています。

「バリュー」、「益利回り」などがパフォーマンスに寄与

設定来の超過リターン*を定量分析により要因分解すると「益利回り」「バリュー」など、バリュー系のファクターがリターンへの寄与の上位に並んでいます。これは、割安株優位の相場局面で強みを発揮するポートフォリオ特性が有効だったことを示唆しています。

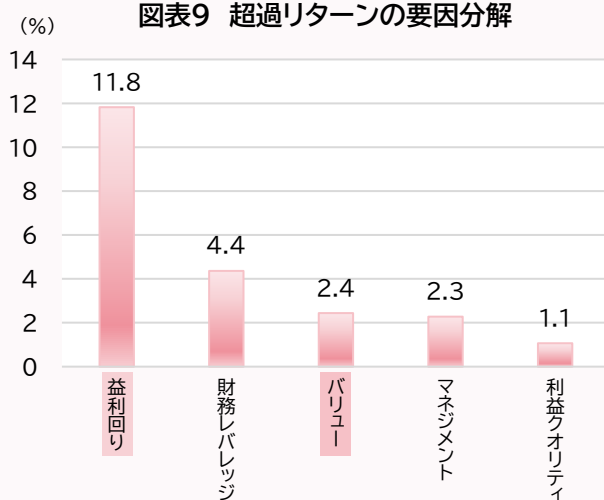
図表8 主なファクター・エクスポージャー



*参考指数(日経500種平均株価)に対する超過リターン
※益利回り:PER(株価収益率)の逆数

(出所) Barraモデルによる分析を基にSBI岡三アセットマネジメント作成

図表9 超過リターンの要因分解

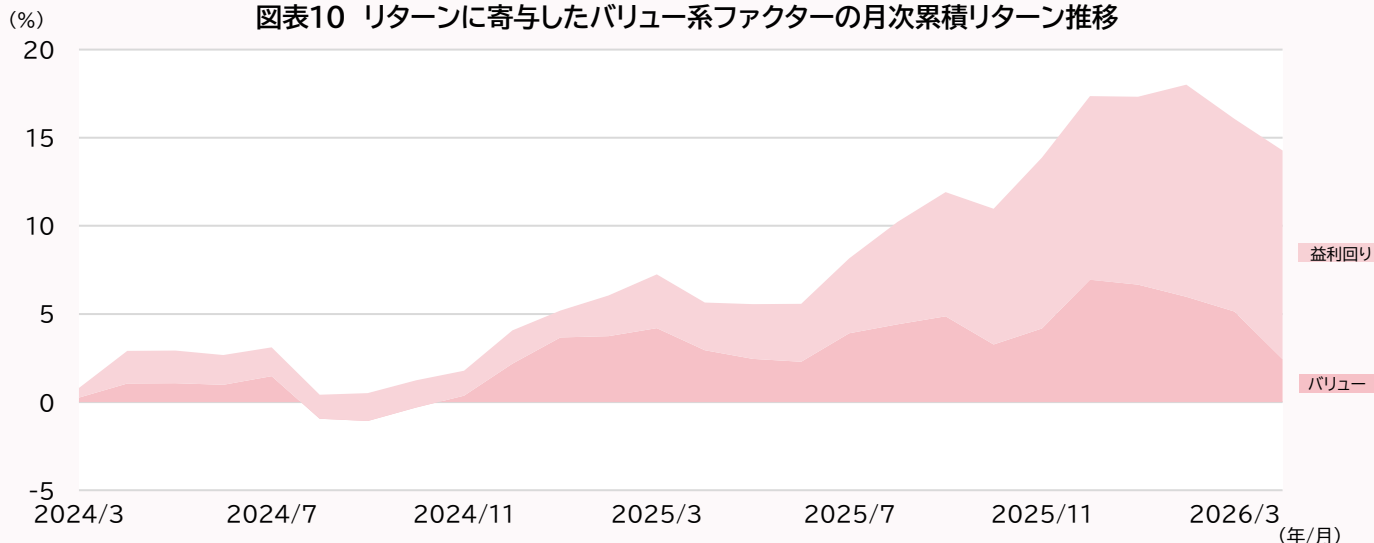


*参考指数(日経500種平均株価)に対する超過リターン
※超過リターンにプラスに寄与した主要ファクター

(出所) Barraモデルによる分析を基にSBI岡三アセットマネジメント作成

配当利回りの高さに着目して投資する運用により 着実に積み上げたバリュー系ファクターによるリターンがパフォーマンスに寄与

図表10 リターンに寄与したバリュー系ファクターの月次累積リターン推移



※分析対象:日本好配当リバランスオープンII
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

(出所) Barraモデルによる分析を基にSBI岡三アセットマネジメント作成

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。
なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
岩井コスモ証券株式会社	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○	
永和証券株式会社	近畿財務局長(金商)第5号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○	○
株式会社SBIネオトレード証券	関東財務局長(金商)第8号	○		○	
おきぎん証券株式会社	沖縄総合事務局長(金商)第1号	○			
香川証券株式会社	四国財務局長(金商)第3号	○			
極東証券株式会社	関東財務局長(金商)第65号	○			○
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
篠山証券株式会社	近畿財務局長(金商)第16号	○			
JPアセット証券株式会社	関東財務局長(金商)第2410号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○	○		
大熊本証券株式会社	九州財務局長(金商)第1号	○			
大和証券株式会社	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
八十二証券株式会社	関東財務局長(金商)第21号	○	○		
播陽証券株式会社	近畿財務局長(金商)第29号	○			
ひろぎん証券株式会社	中国財務局長(金商)第20号	○			
北洋証券株式会社	北海道財務局長(金商)第1号	○			
マネックス証券株式会社	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
水戸証券株式会社	関東財務局長(金商)第181号	○	○		
明和証券株式会社	関東財務局長(金商)第185号	○			
めぶき証券株式会社	関東財務局長(金商)第1771号	○			
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
リテラ・クリア証券株式会社	関東財務局長(金商)第199号	○			
JIA証券株式会社	関東財務局長(金商)第2444号	○			○
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○
武甲証券株式会社	関東財務局長(金商)第154号	○			

※株式会社SBI証券は、一般社団法人日本STO協会にも加入しております。

※大和証券株式会社は、一般社団法人日本STO協会にも加入しております。

(注) 販売会社によっては、現在、新規のお申込みを受け付けていない場合があります。

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。
なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(登録金融機関)					
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者:マネックス証券株式会社)	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者:マネックス証券株式会社)	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社佐賀銀行	福岡財務支局長(登金)第1号	○		○	
株式会社三十三銀行	東海財務局長(登金)第16号	○			
株式会社常陽銀行(委託金融商品取引業者:めぶき証券株式会社)	関東財務局長(登金)第45号	○		○	
株式会社八十二長野銀行(委託金融商品取引業者:八十二証券株式会社)	関東財務局長(登金)第49号	○		○	

(注) 販売会社によっては、現在、新規のお申込みを受け付けていない場合があります。

委託会社
お問合わせ先

電話番号
03-3516-1300(営業日の9:00~17:00)

ホームページ
<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

日本好配当リバランスオープンⅡに関する留意事項

■ SBI岡三アセットマネジメントについて

商号：SBI岡三アセットマネジメント株式会社

SBI岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長(金商)第370号で、一般社団法人資産運用業協会に加入しています。

■ 投資リスク

投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。

ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

基準価額の主な変動要因としては、「株価変動リスク」、「信用リスク」があります。

※「基準価額の変動要因」は、上記のリスクに限定されるものではありません。

留意事項

■ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

■投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

■ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。

■分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかつた場合も同様です。

■取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込の受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込の受付を取消すことがあります。

●詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご参照ください。

■ お客様にご負担いただく費用

●購入時手数料：購入金額(購入価額×購入口数)×上限3.3%(税抜3.0%)

●換金手数料：ありません。●信託財産留保額：ありません。

●運用管理費用(信託報酬)：純資産総額×年率0.913%(税抜0.83%)

●その他費用・手数料：監査費用[純資産総額×年率0.011%(税抜0.01%)]

有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)

○お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。

○詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。